

平成23年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する
法律に基づく対応状況等に関する調査結果概要

<調査対象期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日>

(() 内数字は22年度数値)

1 高齢者虐待に関する相談・通報件数と虐待認定件数

区 分	虐待認定件数	相談・通報件数
養介護施設従事者等による虐待	0件 (2件)	2件 (2件)
養護者による虐待	417件 (366件)	561件 (548件)

2 「養護者による虐待」に関する相談・通報者

区 分	人 数	割 合
介護支援専門員・介護保険事業所職員	269人(270人)	45.7%(45.8%)
近隣住民・知人	31人(20人)	5.3%(3.4%)
民生委員	21人(23人)	3.6%(3.9%)
被虐待者本人	68人(67人)	11.5%(11.4%)
家族・親族	48人(54人)	8.1%(9.2%)
虐待者自身	7人(12人)	1.2%(2.0%)
当該市区町村行政職員	40人(35人)	6.8%(5.9%)
警察	50人(57人)	8.5%(9.7%)
その他	53人(49人)	9.0%(8.3%)
不明(匿名含む)	2人(2人)	0.3%(0.3%)
合計	589人(589人)	

3 「養介護者による虐待」の虐待種別・類型

区 分	件 数	割 合
身体的虐待	300件(286件)	48.2%(43.2%)
介護・世話の放棄・放任	87件(119件)	14.0%(18.0%)
心理的虐待	135件(148件)	21.7%(22.4%)
性的虐待	6件(6件)	1.0%(0.9%)
経済的虐待	94件(103件)	15.1%(15.6%)
合計	622件(662件)	

注) 虐待認定事例のうち、1件の事例で複数の虐待種別に該当する場合は、それぞれをカウント。

4 「養護者による虐待」の被虐待高齢者の性別と年齢階級

性別	人数	割合	年齢階級	人数	割合
男性	92人(82人)	21.8%(21.7%)	65～69歳	48人(43人)	11.4%(11.4%)
女性	330人(296人)	78.2%(78.3%)	70～74歳	63人(48人)	14.9%(12.7%)
不明	0人(0人)	0%(0%)	75～79歳	78人(83人)	18.5%(22.0%)
合計	422人(378人)		80～84歳	99人(90人)	23.5%(23.8%)
			85～89歳	83人(68人)	19.7%(18.0%)
			90歳以上	45人(43人)	10.7%(11.4%)
			不明	6人(3人)	1.4%(0.8%)
			合計	422人(378人)	

5 「養護者による虐待」の被虐待高齢者の要介護認定状況等

区分	人数	割合	区分	人数	割合
未申請	94人(85人)	22.3%(22.5%)	要支援1	15人(16人)	5.1%(5.8%)
申請中	24人(12人)	5.7%(3.2%)	要支援2	29人(35人)	9.9%(12.6%)
認定済み	293人(277人)	69.4%(73.3%)	要介護1	49人(44人)	16.7%(15.9%)
認定非該当(自立)	7人(2人)	1.7%(0.5%)	要介護2	59人(58人)	20.1%(20.9%)
不明	4人(2人)	0.9%(0.5%)	要介護3	68人(59人)	23.2%(21.3%)
合計	422人(378人)		要介護4	39人(44人)	13.3%(15.9%)
			要介護5	28人(19人)	9.6%(6.9%)
			不明	6人(2人)	2.0%(0.7%)
			合計	293人(277人)	

区分	人数	割合
自立又は認知症なし	37人(33人)	12.6%(11.9%)
自立度Ⅰ	43人(40人)	14.7%(14.4%)
自立度Ⅱ	71人(83人)	24.2%(30.0%)
自立度Ⅲ	74人(68人)	25.3%(24.5%)
自立度Ⅳ	21人(22人)	7.2%(7.9%)
自立度Ⅴ	5人(6人)	1.7%(2.2%)
認知症はあるが自立度不明	38人(18人)	13.0%(6.5%)
自立度Ⅱ以上(再掲)	(209人(197人))	(71.3%(71.1%))
認知症の有無が不明	4人(7人)	1.4%(2.5%)
合計	293人(277人)	

注)「認知症はあるが自立度不明」には、一部「自立度Ⅰ」が含まれている可能性がある。

6 「養護者による虐待」事例の同居・別居の状況、家族構成、被虐待高齢者と虐待者の続柄

	虐待者と同居	虐待者と別居	その他	不明	合計
件数	347件(300件)	67件(56件)	3件(10件)	0件(0件)	417件(366件)
割合	83.2%(82.0%)	16.1%(15.3%)	0.7%(2.7%)	0.0%(0.0%)	

区分	件数	割合
単身世帯	49件(52件)	11.8%(14.2%)
夫婦二世帯	96件(75件)	23.0%(20.5%)
未婚の子と同一世帯	158件(137件)	37.9%(37.4%)
既婚の子と同一世帯	63件(64件)	15.1%(17.5%)
その他	50件(37件)	12.0%(10.1%)
不明	1件(1件)	0.2%(0.3%)
合計	417件(366件)	

区分	人数	割合
夫	83人(64人)	18.8%(16.1%)
妻	22人(21人)	5.0%(5.3%)
息子	171人(175人)	38.8%(44.1%)
娘	80人(71人)	18.1%(17.9%)
息子の配偶者(嫁)	20人(20人)	4.5%(5.0%)
娘の配偶者(婿)	9人(8人)	2.0%(2.0%)
兄弟姉妹	10人(9人)	2.3%(2.3%)
孫	23人(9人)	5.2%(2.3%)
その他	22人(19人)	5.0%(4.8%)
不明	1人(1人)	0.2%(0.3%)
合計	441人(397人)	

7 「養護者による虐待」事例に対する市町村の対応状況

・分離の有無

区分	件数	割合
被虐待高齢者者の保護として虐待者からの分離を行った事例	116件(114件)	26.7%(30.3%)
被虐待高齢者と虐待者を分離していない事例	235件(200件)	54.1%(53.2%)
被虐待高齢者が複数で異なる対応(分離と非分離)の事例	0件(0件)	0.0%(0.0%)
対応について検討・調整中の事例	76件(45件)	17.5%(12.0%)
その他	7件(17件)	1.6%(4.5%)
合計	434件(376件)	

・ 分離を行った事例の対応の内訳

	件 数	割 合
契約による介護保険サービスの利用	32件 (33件)	27.6% (28.9%)
やむを得ない事由等による措置	29件 (17件)	25.0% (14.9%)
うち面会制限を行った事例	5件 (8件)	
緊急一時保護	3件 (6件)	2.6% (5.3%)
医療機関への一時入院	30件 (29件)	25.9% (25.4%)
その他	22件 (29件)	19.0% (25.4%)
合計	116件 (114件)	

注) 割合は、「分離を行った事例」「異なる対応 (分離と非分離)」の件数に対するもの。

・ 分離していない事例の対応の内訳 (複数回答)

	件 数	割 合
養護者に対する助言・指導	84件 (84件)	35.7% (42.0%)
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	10件 (48件)	4.3% (24.0%)
被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	32件 (34件)	13.6% (17.0%)
既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	44件 (61件)	8.7% (30.5%)
被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	18件 (6件)	7.7% (3.0%)
その他	50件 (17件)	21.3% (8.5%)
見守り	47件 (67件)	20.0% (33.5%)

注) 割合は、「分離していない事例」「異なる対応 (分離と非分離)」の件数に対するもの。